

事務事業 No./名 称	□サービス部門 ■支 援 部 門				ザイムスコード及び個別事業名		
	拠点－07 深沢地域整備事業				1305	深沢地域整備事業	
	主管課 鎌倉深沢地域整備課 関連課				1313	深沢地域整備事務	
	分野名 市街地整備				1380	深沢地域整備事務	
目標 (目標値)	鎌倉地域、大船地域と並ぶ第三の都市拠点の創出						
人口等の データ	データ区分	21年度	20年度	備 考			
	人 口	176,669人	176,484人	・各年4月1日 (住民基本台帳)			
	世 帯 数	78,131世帯	77,430世帯				
運営資源 状 況	決算値	4,783千円	17,238千円		指標と評価		
	(国・県)		4,638千円		指標	深沢地域整備事業 (都市計画決定)	
	(負担金等)				評価	○	
	(一般財源)	4,783千円	12,600千円		◎目標を達成 ○目標に向かって前進 △横ばい ×後退		
	人員配置数	4.5人	2.5人			目標値	実績値
	人 件 費	41,951千円	24,547千円		20年度	30%	30%
	協 働 の パートナー				21年度	50%	50%
					22年度	70%	
事務事業 運営経費	総事業費	46,734千円	41,785千円		23年度	100%	
	市民1人当 りの経費	265円	237円		最終年度 (年度)		
	対象者1人 当りの経費						
ベンチマー ク(県内外自 治体や民間 団体との比 較値)	団体名						
創意・工 夫・課題等 改善状況	課題・問題 点	(21年度事務事業を実施するうえでの課題・問題点は、どのようなことでしたか) (1)JRの土壤汚染を踏まえた「土地区画整理事業」等の都市計画決定に向けた土地利用計画(案)の策定 (2)「村岡・深沢地区全体整備構想(案)」の具体化に向けた検討 (3)鎌倉青果地方卸売場の将来展望の明確化 (4)事業スケジュールの再構築 (5)C用地の暫定利用					
	創意・工 夫・課題等 の改善点 21年度の 成果	(課題・問題点についてどのような創意工夫、改善をしましたか。また、どのような成果がありましたか) (1)JRと協議・調整を行い、土壤汚染を踏まえた土地利用検討を一緒に行うこととなった。 (2)「湘南地区整備連絡協議会」において、広域的な観点から新駅設置と交通インフラ整備を進めるため、先進事例視察や 交通事業者ヒヤリングを実施した。 (3)平成20年度に、鎌倉青果地方卸売市場の将来展望について、市が提示した課題等の整理を受け、鎌倉青果商業協同組 合が組合員に対してアンケートを実施し、将来への意向を確認した。 (4)JR用地の土壤汚染を踏まえ、土地利用計画策定スケジュールの再構築の必要性を西側地権者に説明し、一定の理解を 得た。 (5)「大船駅西口ペDESTリアンデッキ等整備工事」の資材置き場として、C用地の一部を暫定利用した。					
	未解決の課 題・問題点	(21年度事務事業の取組において対応(解決)できなかったものはどのようなことですか) (1)都市計画決定に向けた土地利用計画(案)の策定 (2)都市計画道路等の基盤整備に係る具体的な方策の検討・整理 (3)土地区画整理事業の施行主体や事業スキームの検討・権利者との合意形成 (4)深沢地域整備事業の推進に伴う鎌倉青果地方卸売市場の将来展望へ向けての早期意思決定 (5)C用地の暫定利用					
	今後の方針 (対応・改 善)	(上記対応できなかった課題・問題点について今後どのように対応(改善)していきますか) (1)JRと一緒に土壤汚染対策を踏まえた土地利用を検討し、専門委員会において土地利用計画(案)を策定する。 (2)神奈川県、藤沢市と協議・調整を行い、都市計画決定に係る課題等を整理し都市計画決定へ向けた具体的検討を図る。 (3)深沢地域圏鉄跡地周辺総合整備事業の事業推進を見据え、施行主体に係るメリット、デメリットを整理し、施行主体の決 定及び事業計画の決定を図るとともに、概略換地設計や補償調査を行い、権利者との合意形成を図る。 (4)鎌倉青果商業協同組合が意志決定を図るため、産業振興課と連携し、国が実施している様々な制度等の活用を提案して いく。 (5)C用地の暫定利用を図るため、庁内や一般市民を対象とした募集を行なう。					
一次評価(課長評価)				二次評価(部長評価)			
A:充実又は拡大 B:現状のまま継続 C:統合又は縮小 D:廃止又は休止 E:事業完了							
評価結果	改善の必要性	早急に面整備ゾーンの土地利用計画 (案)の取りまとめを行い、都市計画決定 に向けた関係機関等との協議・調整を進 める。		評価結果	改善の必要性	都市計画決定に遅れが生じないよ う、JRや西側権利者等との合意形 成を推進する。	
A	有			A	有		
課長名		樋田 浩一		部名・部長名		高橋 洋	